

## &lt;医師記入&gt;

## 意見書

そよかぜ保育園施設長殿

児童名

病名「」

年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。

年 月 日

医療機関

医師名

印

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぎ、一人ひとりの子どもが快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いいたします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活が可能な状態となってからの登園であるようご配慮ください。

## ○医師の意見書が必要な感染症

病名	感染しやすい期間	登園の目安
麻しん（はしか）	発症 1 日前から発疹出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
風しん	発疹出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発疹が消失してから
水痘（水ぼうそう）	発疹出現 1 ~ 2 日前からかさぶたになるまで	すべての発疹がかさぶたになってから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺の腫れ後 4 日	耳下腺、頸下腺、舌下腺の腫れが出て 5 日を経過するまで、かつ全身症状が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭熱結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等）		症状が治まりかつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間を開けて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1 ~ 2 週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髓膜炎菌性髓膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで